

発行元：青森県環境生活部県境再生対策室田子町現地事務所  
〒039-0201 三戸郡田子町大字田子字天神堂向146

TEL 0179-20-7044  
FAX 0179-20-7045

県境再生対策室ホームページ <http://www.kenkyo.pref.aomori.jp/>

## 不法投棄産業廃棄物の撤去状況について

【平成19年11月16日までの撤去状況】

(撤去量の単位：トン)

年度・月別	一次撤去実績 (平成16～18年度)		19年度 4月～10月分		19年度11月分 (11月16日現在)		合計	
作業日数	521日		127日		12日		660日	
搬出台数・撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量
固形廃棄物	8,271	89,443	3,048	34,686	249	2,636	11,568	126,765
液状廃棄物	733	7,760	-	-	-	-	733	7,760
計	9,004	97,203	3,048	34,686	249	2,636	12,301	134,525

## 八戸セメントの見学会を行いました

県ではこれまでに「環境再生総合啓発プログラム事業」として、田子町内の小中学生を対象とした出前授業や現場見学会を開催してきましたが、このたび、その一環として中間処理施設の見学会を開催しました。この見学会は、県境不法投棄問題が周辺自治体の理解と協力があって解決されるということ、また、撤去された廃棄物が有効にリサイクルされていることを知っていただくために行っています。

9月28日には上郷小学校・清水頭小学校のみなさんが、10月19日には田子小学校のみなさんが八戸セメント株式会社を見学しました。

普段見かけることのない大型の施設に驚いたり、慣れないヘルメットをかぶって緊張した様子でしたが、施設や処



理工程の説明では廃棄物がリサイクルされてセメントになるまでの様子をしっかりと学んでいました。

その後、各設備の状況が一目でわかる中央操作室を見学したり、エレベーターでNSPタワーの8階へ上るなど、様々な施設を見学しました。なかでも、ロータリーキルン(回転窯)でセメント原料を焼く工程の説明を受けている時は、直径4.7m、全長75mの大きな筒がゆっくりと回転しているのを見ながら、熱心に説明を聞いていたのが印象的でした。

全体で1時間半ほどの見学でしたが、不法投棄現場の廃棄物がセメントの材料としてリサイクルされる様子について理解が深まったようでした。

## 旧選別ヤードの撤去工事が終わりました



【写真左：平成19年6月の様子】  
旧選別ヤードの建屋がまだあり、  
本格撤去ヤードの西側が建設中  
でした。

【写真右：  
平成19年11月の様子】  
旧選別ヤードの建屋が  
撤去されています。



5月まで利用していた旧撤去ヤードの解体・撤去工事が終了しました。鉄骨組みの建屋二棟と敷き鉄板を解体・撤去し、撤去後はシートでキャッピングを行っています。（右写真）



## 周辺環境モニタリング調査結果について

### モニタリング調査結果（第5回目）

8月1日に周辺河川・湧水等11地点、周辺地下水3地点、現場内浸出水1地点及び現場内地下水10地点の水質について実施しました。

現場内浸出水で「排水基準値」、現場内地下水の一部の地点で「環境基準値」を超える値が検出されましたが、周辺の河川や地下水については、これまでの調査と同様に全ての地点で「環境基準値」を下回りました。

### モニタリング調査結果（第6回目）

9月5日に周辺河川・湧水等7地点、周辺地下水2地点、現場内地下水3地点の水質、8月27日から9月2日にかけて、上郷地区の大気汚染物質、8月27日から28日にかけて、現場敷地境界3地点の有害大気汚染物質、8月30日に上郷地区ほか2地点の騒音振動について調査を実施したところ、全ての地点で「環境基準値（振動については要請限度値）」を下回りました。

## 県道道前浄法寺線の視距改良工事が完成しました

このたび、セーフティタウン道路事業の一環として三八地域県民局地域整備部で行っていた視距改良工事が完成しました。

現場は田子町大字遠瀬地内の県道道前浄法寺線で、旧田子町農協肉牛肥育センター付近のカーブ2箇所です。

今回の工事ではカーブ部分の道路が広くなり、また、運転の際の見通しが良くなるように改良されたため、車両が安全に通行できるようになりました。

【右写真：完成現場の様子】

